

環境防災科 20 周年記念行事ご挨拶

県立舞子高等学校

校長 久保 敬

兵庫県立舞子高等学校環境防災科 20 周年 1.17 震災メモリアルに多くのご来賓をお迎えし、開催できましたことを心よりお喜び致します。

さて、阪神・淡路大震災の教訓を伝え、防災の市民リーダーを育成する目的で、平成 14 年、日本で初めて設置された環境防災科は、当初教科書もない中で、兵庫県教育委員会をはじめ、様々な分野の専門家の方々、全国の交流先、地域の皆様のご支援と歴代の校長、環境防災科長、先輩教職員、そして何より環境防災科の卒業生の方々の並々ならぬ努力により、今日を迎えることができました。関係各位の皆様方に心から感謝申し上げます。

その思いは 20 年経った現在も脈々と受け継がれています。1 月 7 日～10 日にかけて、兵庫県教育委員会主催の防災ジュニアリーダー東北訪問で、6 つの学校の高校生 40 名が震災から 10 年たった冬の宮城県を訪問しました。大川小学校でお子様を亡くされた保護者の方の話、津波の濁流にのまれながらも一命を取り止めた方の話など壮絶な被災体験を聞くことができました。また震災後 10 年たっても解決しない様々な諸問題や復興に向けて新しいまちづくりをされている方の話を聞く中で、生徒達が課題や改善策についてディスカッションを行うことができたのは、何より生徒にとって大きな学びとなったはずです。

近年、未来予想が困難な現代社会において、本校は、学力は勿論、様々な体験を通じた的確な判断力を身に付け、高校生だからこそできる「命を守る防災」というものを発信していける生徒を育てていきます。そして、災害時でも体の不自由な方や高齢者など、多くの命が救われるやさしい社会の実現のため、環境防災を学んだ本校生や卒業生が活躍してくれることを願って止みません。

今後も皆様の格別なご支援とご協力を賜りますよう、心からお願い申し上げます。